

あなたも友の会に！

No.1 2024.10.9

発行：金沢北ブロック

月間推進本部

友の会月間推進ニュース

友の会拡大月間スタート!!

10～11月は友の会拡大強化月間です。友の会と職員が共同してつながりを広げ、平和・いのち・くらしを守る活動にとりくみましょう。

9/29.30 全国共同組織活動交流集会 in 岡山へ参加してきました

6年ぶりの集合開催でした。石川からは37名が参加（zoomは除く）、1日目の全体会では奥能登ブロックの佐渡さんが特別報告を行いました。震災被害や支援活動、直前に発生した豪雨被害の状況報告もあり会場からは共感・感動の拍手と124万円もの募金が寄せられました。2日目は各自分科会に分かれ、演題発表や活発な交流が行われました。

2日間の学びを活かして、それぞれの地域・事業所で活動を広げましょう。財政活動に協力してくれたみなさんありがとうございました。



第3回 能登の集い

9/26 広域避難者6名、友の会7名、職員3名が参加しました。初めに「仮設が当たったけど今の状況じゃ…」「身体の調子が悪い」と悩み出されみんなで懇談。人数少ない分時間を気にせず話せた様子でした。

クリニック通所介護直江さんによるミュージックケアは三味線の生演奏もあり気持ちがほぐれる心地良い時間となりました。





健康づくりの輪



内灘支部

9/27 アルビス内灘店

前日に近隣へ案内チラシを配布。当人もスーパーに入る方にご案内して18名がチェックを受けてくれました。「わしゃ、職員の家族や」という思いがない出会いもあり、笑顔が絶えない取り組みとなりました。初めて健康チェックを担当した研修医は、「高齢でも元気にされている方、運転もされる方がいてびっくり」や、日頃患者さんと接しない職場で働いている職員は、「地域の方と楽しくお話してきて良かった。また参加したい」との感想も出されました。



アルビス内灘店前



浅野支部

10/6 浅野町校下体育祭

コロナや天候により平成29年度ぶりの体育祭での健康チェックでした。地域・職員合わせて12人の参加、51人の受診ありました。体育祭参加は約400人で1割以上のチェックとなりました。「結果が良かったから家族にも声かけた」などいつもより若い世代の受診が多くかったです。

「羽咋から越してきました」「いつも城北にお世話になっています」「家族は会員やけど...」と入会が3世帯6人ありました。

後日健康チャレンジの申し込みもありました。



浅野町校下体育祭

10/1 月間スタート集会

外来診療前の時間帯に待合室で友の会仲間ふやし月間スタート集会が行われました。初めに杉本友の会会长より、友の会でつながる大切さが話されました。続いて城北病院大野院長より、金沢市内の友の会活動の紹介と入会の呼びかけがありました。その場にいた方へ入会をおすすめするとすでに会員の方が多く、震災や政治についての話ができました。



1名入会

あなたも友の会に！

No.2 2024.10.25

発行：金沢北ブロック

月間推進本部

友の会月間推進ニュース

大盛況の健康まつり

10/13 職員と友の会がともに



5年ぶりの健康まつり、今年は城北病院外来棟の正面をメインステージにして開催。目の前の道路には模擬店がずらっと並び、出張輪島朝市も出店して能登を支援しました。開始時刻の10時前にはすでに人だかりができており主催者発表で約900人の参加がありました。

病院内も使用し2階会議室では、健康チェック・子ども薬剤師体験・喫茶みのり、1階産業医療科前ではガラポン抽選会・中庭見学と様々なコーナーがありました。要員・参加のみなさんお疲れ様でした。



いつでも元気 放射線科で5部増

城北病院の放射線科でいつでも元気が5部増えたと嬉しい報告がありました。「最近声をかけていなかった」と友の会委員の上原さん。「『どう？』と声をかけられたのでこれを機会に読みます」と村田さん。こうして続々と読者が広がりました。みなさんも声をかけあってみてくださいね。



10/24 津幡支部結成総会



河合の里キンシューレで津幡支部結成総会を開催。地域より14名が参加、津幡在住の職員も集まってくれました。今年の1月シグナスでの健康チェックを皮切りに定期的に体操班会を実施し、北ブロックで11番目の支部結成となりました。

まずは、ほやね城北徳本さんよりタオル体操を指導してもらいました。体が温まった後、総会に移行。津幡健康友の会の現状報告やこれから活動議案を確認していました。「初めて参加した、楽しかった」「世話人ですよろしく」と自己紹介交流をしたり、申込時から補助金の質問がありいつでも元気の還元金の話をすると4部増、入会も2名ありました。



夕日寺支部 地域サロンで防災非常食づくり

10/22、7人が参加し、友の会員で防災士の打越さん、長井さんを講師に防災非常食づくりを体験しました。ともだち村を会場に地域包括支援センターと共同で行う地域サロン企画です。

初めに能登半島地震の体験から、自宅での非常食のローリングストックなど防災の備え、地域の避難所の確認など話し合いました。その後、非常時に湯煎で調理するメニューを2品（さつまいも飯、いもようかん）作りました。途中で袋が破れて具材が漏れるハプニングもありましたが、試食ではおいしくいただきました。「日頃の調理でも活用できるね」の声も上がりました。

